

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

健康モデル化によるスマートインタラクティブサービス

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

貝原 俊也(神戸大学 大学院システム情報学研究科 教授)

5. 評価結果

健康管理サービスの実現を目指した本研究開発は、今後のわが国を取り巻く社会環境の整備にも大いに貢献が期待されると高く評価され採択された。

探索期間の進捗については、リハビリテーションをユースケースとした CPHS(Cyber Physical Human System)技術で成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、コンセプトの独自性は認められるものの、具体的なサービスイメージから要望される技術レベルへの到達に向け、まだ検討課題が残されていることから、探索研究で終了という評価となった。

以上